様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	２・東書	第１学年 第２学年 第３学年	英語・727 英語・827 英語・927	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3

取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　聞くこと 　第１学年では、コマーシャルを聞いたり、交通情報についてのアナウンスを聞き取ったりする活動、第２学年では、映画のランキングを聞いたり、ニュースのポイントを聞き取ったりする活動、第３学年では、緊急放送の内容を聞いたり、美術館のガイドの説明の内容を聞き取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　話すこと 　第１学年では、身近な人に許可や依頼を伝えたり、電話をかけて友達をパーティーに招待したりする活動、第２学年では、店員に自分の好みや要望を伝えたり、電話をかけて相手に取り次ぎを依頼したりする活動、第３学年では、乗り物での行き方を尋ねたり、友達から聞いた情報を紹介したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　読むこと 　第１学年では、自己紹介の文を読んだり、親しみのある日本の文学作品を読み取ったりする活動、第２学年ではガイドブックを読んだり、学校行事の感想文を読み取ったりする活動、第３学年では、日本文化を紹介する文を読んだり、インターネットの記事を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　書くこと 　第１学年では、目的に合わせて挨拶状を作成したり、自分の学校の紹介文を書いたりする活動、第２学年では友達の行きたい国とそこでしたいことを書いたり、読み取った情報をメモした上で、自分の意見をまとめたりする活動、第３学年ではファンレターを書いたり、インタビューの結果をまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　「Presentation」において、第１学年では、一日の生活を発表する学習や、思い出に残った行事について対話すること、第２学年では、住んでいる町の位置や特色を紹介する学習や、好きなことを簡単な理由を付けて説明すること、第３学年では、日本文化の特徴を発表する学習や、修学旅行の思い出や感想等をまとめることなどの発展的な学習活動が取り上げられている。
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　第１学年では、身近なものを英語で言ったり、自己紹介について質問し合ったりする活動の後に、体験や思い出について述べる活動を取り扱い、第２学年では、既習内容を絵や写真を用いて説明し、夏休みの予定や世界の町の紹介する文を読み取る活動の後に、好きな物事について原稿を書き、物語の要点をまとめたりする活動を取り扱い、第３学年では、既習内容を用いて写真を示しながら紹介し、図表を参考にしながらスピーチを聞き取る活動の後に、調査したことを発表するとともに、議論について読み取ったり、情報を加えながら説明したりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。 ○　内容の分量 　第１学年～対話文は 35 ページ、説明文は 9 ページ、物語・劇は 2 ページ、手紙は 4 ページ、詩は 0 ページ、日記は 0 ページであり、総ページ数は 158 ページで、前回より約 4%増となっている。 　第２学年～対話文は 16 ページ、説明文は 30 ページ、物語・劇は 12 ページ、手紙は 2 ページ、詩は 2 ページ、日記は１ページであり、総ページ数は 158 ページで、前回より約 10%増となっている。 　第３学年～対話文は 14 ページ、説明文は 26 ページ、物語・劇は 21 ページ、手紙は 2 ページ、詩は 0 ページ、日記は１ページであり、総ページ数は 158 ページで、前回より約 4%増となっている。
使用上の配慮等	○　英語の歌を取り上げたり（全学年）、「Unit」では、異文化の発想や考え方に関する内容を取り上げたり（全学年）、ＣＡＮ－ＤＯリストに対応した評価ができるよう各「Unit」において、言語活動を通して目標の到達度を確認したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　複数の「Unit」の文法事項を視覚的に整理して復習することができる「まとめと練習」や、学習するための方法の身に付け方について解説する「学び方コーナー」を設ける（全学年）など、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻末に学習した「Word List」（全学年）や、「英語の音とつづり」（第１学年）、「不規則動詞変化表」（第2、3 学年）などのページを掲載したり、言語活動の幅を広げるための参考資料として示した「Tool Box」を掲載したりするなど（全学年）、使用上の便宜が図られている。
その他	○　北海道と関連のある教材は、第３学年「Presentation 2」の１箇所について取り上げられている。 ○　小学校外国語活動で学んだこととそれを学ぶ「楽しさ」を引き継ぎ、中学校での「読む」・「書く」力を確実に習得できるように、第１学年冒頭に２つの入門期パートが取り扱われている。 ○　全ての生徒にとって使いやすい教科書となるよう、色覚特性の研究者による検証を行い、読みやすさに配慮がなされている。